



第2回日本医療安全学会学術総会

一般社団法人設立大会を兼ねる

医療安全文化と医療安全ガバナンスの向上

—— 医療事故死亡ゼロ社会を目指して。 質向上とリスク科学の立場から ——

2016年3月5日(土)～6日(日)
東京大学本郷キャンパス
(東京都文京区本郷7-3-1)

プログラム (完全版)



主催: 日本医療安全学会

後援

厚生労働省、東京都、日本医師会、日本看護協会、日本薬剤師会、日本内科学会、日本癌学会、
日本臨床腫瘍学会、日本救急医学会、日本リハビリテーション学会、日本肝臓学会、日本神経学会、
日本神経治療学会、日本診療放射線技士学会、日本臨床工学技士会、日本歯科衛生士学会、日本産業看護学会、
日本ケアマネジメント学会、日本緩和医療学会、日本在宅ケア学会、日本医療心理学会、他

連絡先

日本医療安全学会本部
〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102
TEL/FAX: 03-3817-6770 Email: 2amt@jpscs.org

(全体構成)

会期

第1日 2016年3月5日(土) 午前9時～午後8時
第2日 2016年3月6日(日) 午前9時～午後5時

会場 (東京大学本郷キャンパス。東京都文京区本郷7-3-1)

- (第1会場) 安田講堂
- (第2会場) 医学部鉄門記念講堂 (医学教育研究棟14階)
- (第3会場) 医学部2号館本館1階講堂
- (第4会場) 医学部1号館1階講堂
- (第5会場) 医学部1号館3階講堂
- (第6会場) 山上会館2階大講堂
- (第7会場) 山上会館2階201室
- (第8会場) 山上会館2階202室
- (第9会場) 山上会館2階203室 … 3月6日午後: 総会本部、講師控室。
- (第10会場) 山上会館地下1階001会議室
- (第11会場) 山上会館地下1階002会議室
- (第12会場) 山上会館1階談話ホール
- (第13会場) 医学教育研究棟13階第6セミナー室
- (第14会場) 医学教育研究棟13階第7セミナー室
- (第15会場) 安田講堂回廊ロビー. 3月5日と6日午前: **受付**、ポスター発表、企業展示。
- (第16会場) 医学部鉄門記念講堂ロビー.... 3月6日午後のみ: **受付**、ポスター発表、企業展示。
- (第17会場) 山上会館2階応接室 総会支部、講師控室。3月5日のみ
- (第18会場) 安田講堂控室 総会本部、講師控室。3月5日と6日午前。

受付開始: 両日とも午前8時。

一般演題(口演)は1題15分(質疑時間を含む)

一般演題(ポスター)の発表者は各日毎に定められた時間帯にポスター会場(第13会場)で質疑応答をしてください。

一般演題から審査専攻される「医療安全賞」の賞状は、会議後2-3か月後にお知らせします。

理事会 : 3月5日午前8時30分～午前8時50分

会員総会・代議員総会 : 3月5日午後5時30分～5時50分

本会員総会是一般社団法人設立大会を兼ねます。

懇親会 : 3月5日午後6時～8時

(第7会場) 山上会館2階201室

(第6会場) 山上会館2階大講堂

(第12会場) 山上会館1階談話ホール

学会の趣旨

本学会は、医療現場が日常抱えている安全問題を解決することを目的とし、特定の固定観念にとらわれず、幅広く様々に複雑な状況へ柔軟に対応し、実践的・現場に即した安全文化の構築を目指します。

この目的を達成するために、それぞれの安全管理責任者が本学会の理事・代議員として医療における各種安全分野を編成し、多職種横断的ならびに学際的研究の2つの視点から活動を展開しています。

以上から、本学会のキーワードは現場的、実践的、柔軟性、多職種横断および学際研究です。このような独特な特徴を持つ本学会は、皆様が現場で抱えている安全問題の共通部分について多職種によって問題意識と解決策を共有・共感し、同時に各専門分野での安全向上に努め、日々に高度に発達していく巨大かつ複雑な医療現場での安全文化を構築します。

(対象者)

医療従事者、専従医療安全管理者、専任医療安全管理者、医療リスクマネージャー、歯科医療安全管理者、医療機器安全管理者、医薬品安全管理者、その他の医療福祉関係者全般、安全科学・工学関係者、リスク科学関係者、危機科学関係者、法行政関係者、情報関係者、その他医療職の方。

参加費

参加費には抄録集は含まれません。	日本医療安全学会の会員	その他
事前申込参加費（11月1日～1月31日まで。非課税。懇親会費別）	9千円	1万2千円
当日申込参加費（非課税。懇親会費別）	1万円	1万3千円
印刷抄録集	2千円	2千円
懇親会（3月5日午後6時～8時、税込）	6千円	6千円

看護師の参加費は無料ではありません。看護研修生の参加費は無料ですが、テキストは有料です。
大学院生は一般扱いです。

事前申込者には電子メールにて抄録集をお届けしますが、印刷抄録集を購入希望の際には当日受付でも会計いただけます。

(ご注意) キャンセルの際、参加費は返却されません。

代わりの方が参加できますので、申込者が捺印した変更届を当日にご持参ください。(様式は任意)

学部生・研修医・研修生(薬剤師・看護師)の参加費は無料で、事前登録は不要です。当日受付でそれらの身分証明書を提示ください。これらの方が印刷抄録集希望の際には販売します。

(懇親会)

日 時: 2016年3月5日(土)午後6時～8時
会 場: 東京大学山上会館1階談話ホール
参加費: 6千円

運営組織

会長組織:

総会長 小野 稔 (東大病院心臓血管外科学教授)
白川 哲夫 (日本大学歯学部教授、前同病院長)
藤井 千枝子 (慶應義塾大学看護医療学部教授)
副会長 柴田 徹一 (東海大学附属病院元薬剤部長、慶應義塾大学医学部元助教授)
井上 清成 (弁護士)

統括: 酒井 亮二 (日本医療安全学会理事長)

プログラム委員会:

医科医療安全分野、臨床医学安全分野、歯科医療安全分野、医療機器安全分野、
医薬品安全分野、看護安全分野、ならびにその他の関連分野、における理事・評議員、他

組織委員会: 会長組織、全理事、全評議員、その他

当日実行委員長: 本多 秀俊 (東大病院薬剤部 RM)
同副委員長: 武井 浩樹 (日本大学歯学部小児歯科学講座助教)

後援:

厚生労働省、東京都、日本医師会、日本看護協会、日本薬剤師会、日本内科学会、日本癌学会、
日本臨床腫瘍学会、日本救急医学会、日本リハビリテーション学会、日本肝臓学会、日本神経学会、
日本神経治療学会、日本診療放射線技士学会、日本臨床工学技士会、日本歯科衛生士学会、日本産業看護学会
日本ケアマネージメント学会、日本緩和医療学会、日本在宅ケア学会、日本医療心理学会、他

第2回 JPSCS 総会事務局:

日本医療安全学会本部内
〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102
TEL/FAX: 03-3817-6770
Email: 2amt@jpscs.org

第2回日本医療安全学会学術総会 共同総会長 ご挨拶

小野 稔（東大病院心臓血管外科学教授）

これまで様々な議論が交わされてきましたが、平成27年10月1日から新たな医療事故調査制度が開始されます。それぞれの医療機関には院内調査委員会の設置が義務づけられますが、具体的な運用法などについて模索している施設が多いのではないかと思います。すでに多くの医療機関では、ヒヤリハットを含めてインシデント・アクシデントの収集のための努力と工夫をされてきたものと思います。医療安全報告は義務感が伴う間はなかなか集まりにくいものです。「医療安全は文化である」とよく言われていますが、医療事故防止のためのシステム作りから、院内で働いているすべての職種の人たちが適切なコミュニケーションスキルを身につけられるような環境作りがこれから益々重要になってくると思います。今回の総会において、参加者一人一人が医療安全文化をどのように構築していけばよいのかを真剣に考え、率直に意見を交わすことができる場を生まれることを願っています。

白川 哲夫（日本大学歯学部附属歯科病院教授、前病院長）

このたび第2回の学術総会の共同会長を仰せつかりました白川です。歯科からの参画ということになりますが、今後取り組むべき医療安全の課題について、多方面から情報やアドバイスをいただきながらプログラムの立案を進めていきたいと考えています。

これまでにわが国で実施された、医療の安全確保に関するいくつかの施策や啓蒙活動、医療安全セミナー等によって、重大な医療事故の発生を予防するための考え方や方法論が国内の多くの医療機関に普及したことは確かでしょう。しかしながら、マスコミ報道で目にする医療事故には医療過誤が明らかと思えるものが現在も多数あり、それらの現場で熱意を持って医療安全に取り組んできたリスクマネージャーの方々が切歯扼腕する姿が目に見えます。

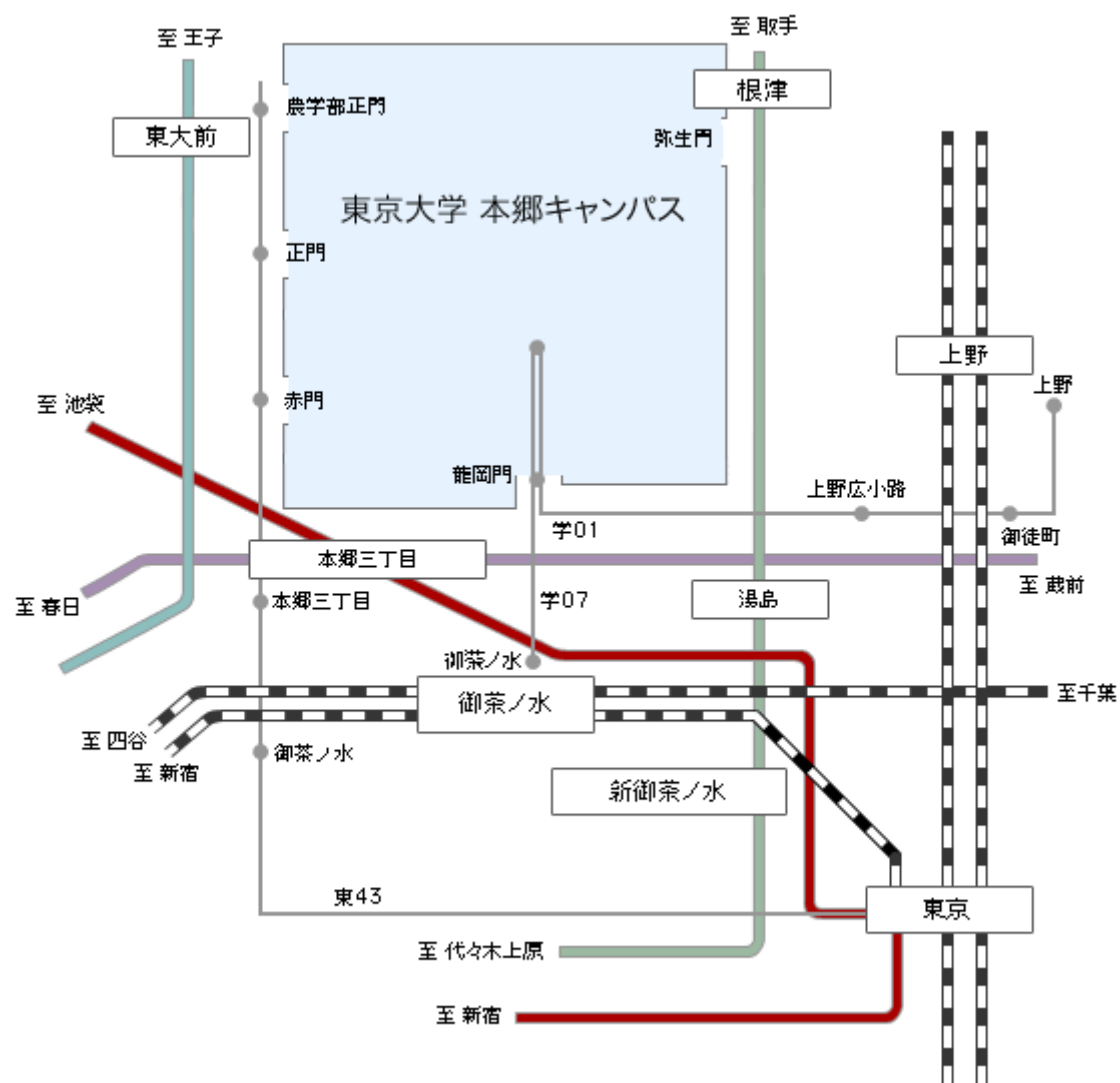
重大な医療事故に至るまでの過程は、しばしばスイスチーズモデルで説明されます。医療者の能力、医療機器の動作、医療環境などをそれぞれ一枚のスイスチーズにたとえた場合、チーズの穴は現場の努力や安全確保への前向きな姿勢によって相当に小さくできますが、逆に馴れ合い的な姿勢や無関心、周囲の声に耳を貸さない専横的な医療者の存在によって拡大します。経費の壁に阻まれて効果的と考えられる改善策を実行に移せないこともあるかもしれません。

今回の学術総会では、ヒューマンファクターからみた医療の質向上のための方策や、職種・職位を越えたシステマティックな医療安全への取り組みなどについて、踏み込んだ議論が行われることを期待しております。

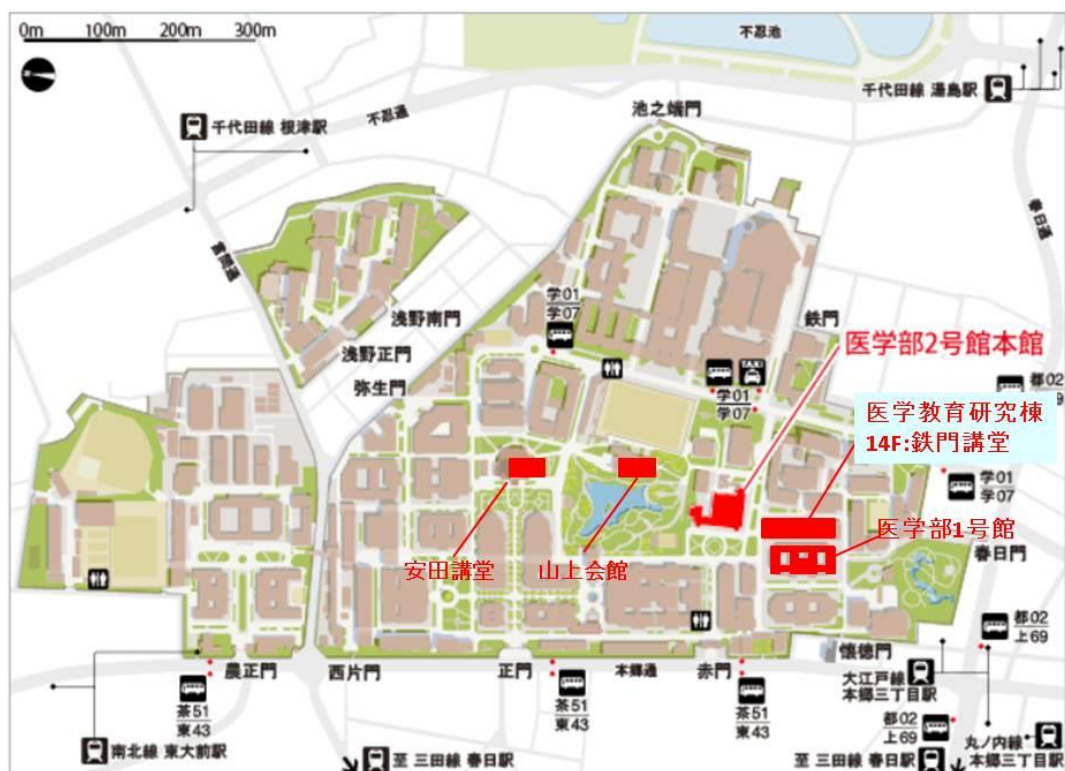
藤井 千枝子（慶應義塾大学看護医療学部教授）

医療安全を担う看護師は医療従事者や患者から信頼が厚く、その経験を生かした組織づくりや、活動を日々健闘しているのではないのでしょうか。第1回学術総会では、医療安全に取り組む看護師たちの参加により、活気がありました。前回に続き今回の看護からの報告は、医療安全における看護の体系の土台になるのではないかと思います。本年度も多くの参加により活発な学会となることを期待しています。

(交通案内)



(会場地図)



(飲食について)

東大安田講堂地下食堂。東大病院入院A棟。

学内レストラン地図 <http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/restaurantmap.pdf>

東大正門～本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

後楽園の東京ドームシティーにもたくさんのレストランがあります。(タクシー5分、徒歩15分)

本郷キャンパス 中央食堂(地下)

[本郷アクセスマップ](#)



会場での飲食は一切禁止されています。

【日程】

一般演題以外のセッションは、シンポジウムまたはパネル討論会です。

	5日午前	5日午後	6日午前	6日午後
(第1会場) 安田講堂	医療安全	医療安全	医療安全	×
(第2会場) 医学部鉄門記念講堂	×	医療安全	×	医療安全
(第3会場) 医学部2号館本館1階講堂	医薬品安全	医薬品安全	歯科安全	歯科安全/ 医療安全
(第4会場) 医学部1号館1階講堂	看護安全	医療安全	医薬品安全/ 医療安全	医薬品安全/ 医療安全/ 臨床医学安全
(第5会場) 医学部1号館3階講堂	看護安全	医療安全	看護安全	医療安全/ 臨床医学安全
(第6会場) 山上会館2階大講堂	看護安全/ 医療安全	歯科安全/看護安全/ 医療安全	×	×
(第7会場) 山上会館2階201室	×	一般演題(医療安全)	×	×
(第8会場) 山上会館2階202室	×	一般演題(医療機器)	×	×
(第9会場) 山上会館2階203室	×	一般演題(医療安全)/ 医療安全	×	×
(第10会場) 山上会館地下1階001会議室	×	一般演題(歯科、薬)	×	×
(第11会場) 山上会館地下1階002会議室	×	一般演題(チーム医療)	×	×
(第12会場) 山上会館1階談話ホール	×	懇親会	×	×
(第13会場) 医学教育研究棟13階 第6セミナー室	看護安全	臨床医学安全/ 看護安全	医療安全	医療安全/一般 演題(看護安全)
(第14会場) 医学教育研究棟13階 第7セミナー室	総会支部、講師控室	一般演題(臨床医学 安全)	医療安全/ 医療機器安全	総会本部、講師 控室
(第15会場) 安田講堂回廊ロビー	受付、ポスター発表、 企業展示	受付、ポスター発表、 企業展示	受付、企業展示	×
(第16会場) 医学部鉄門記念講堂ロビー	×	×	ポスター掲示 (12時から)	受付、ポスター 発表、企業展示
(第17会場) 山上会館2階応接室	総会支部、講師控室	総会支部、講師控室	×	×
(第18会場) 安田講堂控室	総会本部、講師控室	総会本部、講師控室	総会本部、講師控 室	×

(プログラム概要)

シンポジウム : 5セッション
教育講演 : 13題
特別講演 : 11題
パネル討論会 : 37セッション

医療安全パネル(17セッション)、臨床医学安全パネル(4セッション)、
歯科医療安全パネル(1セッション)、医薬品安全パネル(6セッション)、
看護安全パネル(8セッション)、医療機器安全パネル(1セッション)。

一般演題 (口演・ポスター)
企業展示

座長・座長・発表者の皆様へ

(座長・司会の先生方へ)

ご担当のセッションの開催会場へ、セッション開始時間の30分前までにご入場 ください。

(口演の方法)

発表者は講演時間の30分前までに、各講演会場 にご入室ください。

PC(Windows10 ないし Windows7)一台をご利用できます。

(マッキントッシュ PC をご持参の場合: モニターとの接続ケーブルをご持参ください。)

パワーポイント用データ保管のUSB メモリーをご持参ください。USB メモリーをご自身でPC に装着したのち、ご自身でご操作ください。 リモコン操作器具を用意いたします。

一般演題(口演)は1題15分(質疑時間2分を含む)です。

(ポスター発表の方法)

会場 : (3月5日)東京大学安田講堂・回廊 (3月6日)東京大学医学部鉄門記念講堂・ロビー

3月5日 10:00-17:00 ポスター掲示時間

13:00-14:00 ポスター質疑応答

3月6日 12:00-17:00 ポスター掲示時間

13:00-14:00 ポスター質疑応答

一般演題(ポスター)の発表者は各日毎に定められた時間帯に当該ポスター前にて質疑応答ください。

ポスター掲示板に演題番号を掲示しますので、当該番号のポスター板面をご使用ください。

掲示板 に掲載可能なポスターはA1 版縦長置き、縦列二枚までです。

用紙内の最上部にタイトルと発表者一覧を明記ください。

ポスター掲示用のスコッチテープ をご持参ください。

ポスター掲示終了後、ポスターをお持ち帰りください。

学術発表プログラム

2016年3月5日(土)～6日(日) 東京大学本郷キャンパス

受付開始: 両日とも午前8時

(記念特集) 医療安全ガバナンス

本特集の個々の講演は2日間にわたり別個の会場にて行われます。詳細を日別のプログラムにて参照してください。

(概要) 20世紀に欧米で開花したリスク学の中で重要な考え方の1つであるリスクガバナンス。この考え方を基に、本会が世界で初めて提起した「医療安全ガバナンス」の考え方の全貌を討議します。

「医療安全ガバナンス」は、事故予防から事故対応までの医療安全のすべての過程に対処し、院内組織を円滑かつ合理的に運営する運営方法です。臨床ガバナンスとは異なる、新しい考えです。

- (講演) 医療安全の新たな基本フレームと医療安全ガバナンスの新しい考え方
- (講演) 患者の立場から
- (講義) 患者・家族に信頼される組織 --- インフォームドコンセント(IC)の役割
- (講演) HRO(高信頼性組織)を目指した安全文化醸成のための院内管理者研修
- (講演) 医療訴訟とリスクマネジメント
- (講演) 危機管理の基本
- (講演) 医療安全におけるクライシスガバナンスの実践
- (パネル) 解剖からみた医療事故調査制度の問題点
- (パネル) 院内事故調査制度の中間取りまとめ
- (パネル) 医師法21条(異状死体の警察届出)の現状と課題
- (パネル) 医療安全活動における院内法務の果たすべき機能・役割
- (講演) 患者相談の進め方、医療倫理の考え方と院内での進め方 --- 安全モラルの改善
- (講演) 謝罪の適切なタイミングとは

第2回日本医療安全学会学術総会

(第1日目プログラム)

2016年3月5日(土)

受付: 8時～18時、安田講堂玄関回廊ロビー

会場:

- (第1会場) 安田講堂
- (第2会場) 医学部鉄門記念講堂
- (第3会場) 医学部2号館本館1階講堂
- (第4会場) 医学部1号館1階講堂
- (第5会場) 医学部1号館3階講堂
- (第6会場) 山上会館2階大講堂
- (第7会場) 山上会館2階201室
- (第8会場) 山上会館2階202室
- (第9会場) 山上会館2階203室
- (第10会場) 山上会館地下1階001会議室
- (第11会場) 山上会館地下1階002会議室
- (第12会場) 山上会館1階談話ホール: 懇親会、18:00-20:00
- (第13会場) 医学教育研究棟13階第6セミナー室
- (第14会場) 医学教育研究棟13階第7セミナー室: 午前中のみ。総会支部、講師控室
- (第15会場) 安田講堂回廊ロビー: 受付、ポスター発表、企業展示
- (第17会場) 山上会館2階応接室: 総会支部、講師控室
- (第18会場) 安田講堂控室: 総会本部、講師控室

2016年3月5日(土) (第1会場: 医療安全) 安田講堂

9:00～9:10 第2回学術総会共同総会長挨拶(1)

- (1) 白川 哲夫 (日本大学歯学部付属歯科病院 前病院長、小児歯科教授)
- (2) 藤井 千枝子 (慶應義塾大学看護医療学部教授)

9:10～11:00 (SP01: シンポジウム 1) 院内事故調査の実施方法と調査制度の問題点

座長: 長尾 能雅 (名古屋大学付属病院医療の質・安全管理部教授、同副院長)

オルガナイザー: 酒井 亮二 (日本医療安全学会理事長)

概要: 日本政府によって2015年10月に施行された院内事故調査制度は1年後に制度の見直しが行われます。そのために、施行後の半年の間での中間総括を行います。

- 9:10～9:30 (SP01-1) 深山 正久 (日本病理学会理事長、東京大学大学院医学研究科教授(人体病理学))
- 9:30～9:50 (SP01-2) 平子 哲夫 (厚生労働省医政局総務課 医療安全推進室室長)
- 9:50～10:10 (SP01-3) 木村 壮介 (日本医療安全調査機構専務理事、中央事務局長)
- 10:10～10:20 (SP01-4) 今村 定臣 (日本医師会常任理事、医療安全担当)
- 10:20～10:40 (SP01-5) 神谷 恵子 (神谷法律事務所弁護士)
- 10:40～11:00 (SP01-6) 総合討論

11:00～11:30 (ML: 記念講演) 医療安全の文化 ― 医療者の過重労働の是正に向かって

中原 のりこ (厚生労働省「過労死等防止対策推進法」協議会委員、

「過労死等防止対策推進法」全国センター理事、全国過労死を考える家族の会・東京代表)

概要: 中原先生は薬剤師で、配偶者である医師の過労死に遭遇し、過労死認定を最高裁で和解しました。

11:30～12:00 (EL01: 教育講演) 医療安全の新たな基本フレームと医療安全ガバナンスの新しい考え方

酒井 亮二 (日本医療安全学会理事長、国際医療リスクマネジメント学会理事長)

12:00～13:00 昼食

13:00～13:30 (SL01: 特別講演) PMDAにおける医療安全対策

近藤 恵美子 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA)安全第1部部長)

13:30～14:20 (EL07: 教育講演) 安全心理学 ― エラー行動の分類とその心理

土田 昭司 (関西大学社会安全部教授)

14:20～15:10 (EL03: 教育講演) リスク学から見た安全の基本的考え方 ― リスク許容量とは

岸本 充生 (東京大学公共政策学特任教授、産業技術総合研究所安全科学研究部門)

概要: 安全科学には品質管理学とリスク学があります。リスク学で定義されているリスク許容量を中心に安全の考え方を講義していただきます。講師は日本リスク学会理事です。

(続く)

2016年3月5日(土) (第1会場: 医療安全) 安田講堂

15:10～17:10 (SP02: シンポジウム 2) 一般市民への医療安全教育の勧め

オルガナイザー: 酒井 亮二 (日本医療安全学会理事長)

座長: 辰巳 陽一 (近畿大学付属病院医療安全管理部教授)

長尾 能雅 (名古屋大学付属病院医療の質・安全管理部教授、同副院長)

林 敦彦 (朝日新聞科学医療部次長)

概要: 医療安全を市民教育することによって、事故トラブルへ巻き込まれないよう、あるいは患者・家族が事故時へ適切な対応ができるようにするための、教育プログラム内容を提起していただき、その提供方法を説明します。

(SP02-1) メディアの立場から

(SP02-2) 医療安全の立場から

(SP02-3) 医薬品安全の立場から

(SP02-4) 看護安全の立場から

(SP02-5) 市民の立場から

林 敦彦 (朝日新聞科学医療部次長)

辰巳 陽一 (近畿大学付属病院医療安全管理部教授)

清野 敏一 (帝京平成大学薬学部教授、東大病院元医薬品安全管理者)

新村 美佐香 (菊名記念病院医療安全管理室)

勝村 久司 (患者の立場で医療安全を考える連絡協議会世話人)

討論 30 分

第1日目 終了

2016年3月5日(土)午後 (第2会場: 医療安全) 医学部鉄門記念講堂

13:00～14:00 (EL04:教育講演) IoT と M2M の基本的考え方と方法

座長: 酒井 亮二 (日本医療安全学会理事長)
森川 博之 (東京大学先端科学技術研究センター 教授)

14:00～15:00 (EL05:教育講演) リスク評価 ― 定性リスク分析と定量リスク分析

座長: 酒井 亮二 (日本医療安全学会理事長)
氏田 博士 (東京工業大学特任教授、キャノングローバル戦略研究所)

15:00～16:00 (EL06:教育講演) いきいきと成果を出す企業・組織デザインとは

高野 研一 (慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント科 教授)

概要: 企業・組織の風土文化は、企業活動の様々な面に影響を与える。安全性および生産性はトレードオフの関係にあるとされるが、両者を上手くバランスさせ、パフォーマンスの向上を図ることは可能である。そのキープポイントを握るのは「組織文化」である。本講演では、安全性の指標である事故発生率と組織文化の指標である安全文化レベルの関係性について述べる。また、その構成要素が8つの要因で表され、および両者は有意な相関関係にあること、および同一組織では、8つの軸の優劣もまた同一傾向を示すことを示す。一方、生産性の指標である企業業績においても組織文化と業績は有意な相関関係を示した。興味深いのは、安全文化においては、安全性向上に向けた「モチベーション」が大きな役割を果たすことが示唆され、業績においては、「職務満足度」との関係性が有意であることを示す。さらに、安全優良企業と業績優良企業のケーススタディーからも両者に寄与している組織文化に共通性があることが分かった。このことから、組織文化の改善は、企業のパフォーマンスを大きく左右し、その改善が大きな成果を生み出すことが期待される。組織文化を改善するキープポイントはトップダウンとボトムアップの双方のコミットメントであり、上手く調和・融合させることが必須である。トップダウンでは、コミュニケーションやチームビルディングを改善するためのノンテクニカルスキルを中心とする組織全体を巻き込む訓練であり、ボトムアップの取り組みは自分たちが必要性を認識し、自ら主体的に取り組む自律的職場活動であることを提案する。

16:00～17:30 (PSP01:医療安全パネル討論会) コーチングを活用した医療組織マネジメントと医療安全

座長: 出江 紳一 (東北大学リハビリテーション教授)、松村 由美 (京都大学医療安全、病院教授)

(PSP01-1) コーチング: 医療安全につながるコミュニケーション

出江 紳一 (東北大学大学院医工学研究科研究科長/教授)

(PSP01-2) 医療安全に活かされる振り返り教育法

東村 享治 (京都大学医学部附属病院 放射線技師長)

(PSP01-3) 現場目線で考える、コーチングで「何」が「どう」変わるのか

安樂 摩美 (公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 放射線部 担当係長)

討論

第1日目 終了

2016年3月5日(土) (第3会場:医薬品安全) 医学部2号館本館1階講堂

9:00～10:30 (MEP01:医薬品安全パネル討論会) 医薬品の安全使用に向けた取り組みと安全管理の実践

オルガナイザー・座長:

佐藤 光利 (明治薬科大学 薬学教育研究センター 医薬品安全性学研究室 教授)

岡田 賢二 (横浜薬科大学 実務実習センター 講師)

(MEP01-1) 医薬品の安全管理体制と求められるガバナンス

龍野 一郎 (東邦大学 医療センター佐倉病院副院長 前医療安全管理室長、教授)

(MEP01-2) 医薬品の安全使用に向けての看護部での取り組み

新村 美佐香 (菊名記念病院 医療安全管理室)

(MEP01-3) 病院における医薬品安全管理の実践

生島 五郎 (松戸市立病院 薬局長 医薬品安全管理責任者)

(MEP01-4) 医薬品の適応外使用・疾病禁忌薬管理の問題と適正管理を考える

高橋 結花 (東京女子医科大学病院 医療安全対策室副室長)

討論

10:30～12:00 (MEP02:医薬品安全パネル討論会) 病棟薬剤業務における医療安全への貢献

ー医療安全のための病棟業務の現状と他の医療スタッフからの評価ー

オルガナイザー: 本多 秀俊 (東大病院薬剤部 RM)、清野 敏一 (帝京平成大学薬学部教授)

(MEP02-1) 病棟薬剤業務と感染制御チーム (ICT) との連携

山口 諒 (東京大学医学部附属病院薬剤部)

(MEP02-2) 病棟薬剤業務の現状と問題点

鈴木 信也 (神奈川県警友会けいゆう病院薬局)

(MEP02-3) 病棟薬剤業務実施加算における他の医療スタッフからの評価

金田 昌之 (菊名記念病院薬局長)

討論

12:00～13:00 昼食

13:00～14:30 (MEP03:医薬品安全パネル討論会)

外来化学療法業務での多職種連携による医療安全対策 ー薬剤師の立場からー

オルガナイザー: 本多 秀俊 (東大病院薬剤部 RM)、清野 敏一 (帝京平成大学薬学部教授)

(MEP03-1) 外来化学療法業務の現状と安全対策

苔米地 敬 (東京大学医学部附属病院薬剤部)

(MEP03-2) 外来化学療法における多職種連携の現状

稲田 佑亮 (横浜労災病院薬剤部)

(MEP03-3) 薬薬連携による外来化学療法の安全性向上に向けた取り組み

徳丸 隼平 (横浜市大センター病院薬剤部)

討論

14:30～16:00 (MEP04:医薬品安全パネル討論会) 糖尿病薬の安全な使用を支える薬剤師

オルガナイザー: 橋田 亨 (神戸市立医療センター中央市民病院院長補佐薬剤部長)

座長: 奥貞 智 (神戸市立医療センター中央市民病院 副薬剤部長代行)

(MEP04-1) 糖尿病治療薬による重症低血糖の現状と対策

奥貞 智 (神戸市立医療センター中央市民病院 副薬剤部長代行)

(MEP04-2) 糖尿病薬の安全確保における病院薬剤師の役割～プレアボイド未然回避報告の解析～

小林 仁 (南町田病院)

(MEP04-3) 患者のための「糖尿病薬適正使用」への支援

佐竹 正子 (恵比寿ファーマシー)

討論

(続く)

2016年3月5日(土) (第3会場:医薬品安全) 医学部2号館本館1階講堂

16:00～17:30 (MEP05:医薬品安全パネル討論会) 私たちが行う薬剤使用の医療安全対策
—診療所、総合病院、大学病院では—

オーガナイザー: 富永 英一郎 (慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 講師)
小林 肇 (東京フェリシアレディースクリニック 院長)

(MEP05-1) 意図した服薬方法が伝わるメカニズムを考える (診療所から)

小林 肇 (医療法人社団 聖マリア会 東京フェリシアレディースクリニック 院長)

(MEP05-2) 注射患者間違いゼロを目指す取り組み (総合病院から)

金内 幸子 (公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 薬剤科)

(MEP05-3) 医師、看護師、薬剤師が連携して行う持参薬業務 (大学病院から)

池谷 修 (慶應義塾大学病院 薬剤部・感染制御センター)

(MEP05-4) 当院における薬剤に関する医療安全対策のシステム構築 (大学病院から)

富永 英一郎 (慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 講師)

討論

第1日目 終了

2016年3月5日(土)午後(第4会場:看護安全/医療安全) 医学部1号館1階講堂

12:00～13:00 昼食

13:00～13:40 (SL02:特別講演) 医療訴訟とリスクマネジメント
田辺 昇(弁護士、医師)

13:40～14:10 (SL03:特別講演) 医療安全におけるクライシスガバナンスの実践
井上 清成(井上法律事務所所長、弁護士)

14:10～15:40 (PSP02:医療安全パネル討論会) 医師法 21 条(異状死体の警察届出)の現状と課題
オルガナイザー: 井上 清成(弁護士)
概要: 医師法 21 条と医療関連死の問題点を討議します。

- (PSP02-1) 異常死届出から異状死体届出への正常化
井上 清成(井上法律事務所所長 弁護士)
- (PSP02-2) 東京都立広尾病院事件最高裁判決 医師法 21 条の解釈
田邊 昇(中村・平井・田邊法律事務所 弁護士、医師)
- (PSP02-3) 医師法 21 条正論と異端者の誤謬
佐藤 一樹(医療法人社団いつき会ハートクリニック院長)
- 討論

15:40～17:10 (PSP03:医療安全パネル討論会) 医療安全活動における院内法務の果たすべき機能・役割
オルガナイザー: 井上 清成(弁護士)
概要: 医療安全には法的な関わりが不可分です。医療安全への院内法務の関わり方を検討します。

- (PSP03-1) 過不足なき法令遵守を目指して
井上 清成(井上法律事務所所長 弁護士)
- (PSP03-2) 法令・ガイドラインの遵守と医療従事者の人権尊重
～複雑適応システムの医療現場の理解から～
佐藤 一樹(医療法人社団いつき会ハートクリニック院長)
- (PSP03-3) 紛争解決から真の医療安全へ
満岡 渉(医療法人社団光楓会満岡内科・循環器科院長、諫早医師会副会長)
- 討論

第1日目 終了

2016年3月5日(土) (第5会場:看護安全/医療安全) 医学部1号館3階講堂

9:00～10:30 (NSP01:看護安全パネル討論会) 安全性に関するコメディカルとのコミュニケーション

オルガナイザー: 堀田 まゆみ (東海大学医学部附属大磯病院 医療安全管理部)

(NSP01-1) 薬剤師が必要なコミュニケーションスキル ～病棟薬剤業務での事例から～

矢野 裕士 (東海大学医学部附属大磯病院 薬剤科)

(NSP01-2) 安全性に関するコメディカルとのコミュニケーションにおけるポイント

～リハビリテーション医療に関わる療法士の立場から～

市川 毅 (東海大学医学部附属大磯病院 リハビリテーションセンター)

(NSP01-3) 情報共有のコミュニケーション ～医療安全管理者の立場から～

堀田 まゆみ (東海大学医学部附属大磯病院 医療安全管理室)

討論

10:30～12:00 (NSP02:看護安全パネル討論会) 安全性に関する医師とのコミュニケーション

オルガナイザー: 新村 美佐香 (菊名記念病院 医療安全管理室)

(NSP02-1) 医師・看護師のコミュニケーションエラーの現状

新村 美佐香 (菊名記念病院 医療安全管理室)

(NSP02-2) 医療安全推進のための医師とのコミュニケーションのあり方

～医療安全管理者(看護師)の立場から～

大坪 まゆみ (衣笠病院副看護部長 医療安全管理者)

(NSP02-3) 医師・看護師間のコミュニケーションエラーを防ぐためのポイント ～医師の立場から～

辰巳 陽一 (近畿大学医学部附属病院 医療安全対策室 教授)

討論

12:00～13:00 昼食

13:00～14:30 (SP03:シンポジウム 3)

医療事故の「予期」はどう判断すべきか? 「事故調制度」とどう向き合うべきか?

オルガナイザー・座長: 勝村 久司 (群馬大学医療事故調査委員、産科医療補償制度再発防止委員)

(SP03-1) 弁護士の立場から医療者に伝えておきたいこと

木下 正一郎 (医療版事故調推進フォーラム事務局、弁護士)

(SP03-2) メディアの立場から医療者に伝えておきたいこと

原 昌平 (読売新聞 編集委員)

(SP03-3) 患者の立場から医療者に伝えておきたいこと

勝村 久司 (群馬大学医療事故調査委員、産科医療補償制度再発防止委員)

討論

(続く)

2016年3月5日(土) (第5会場:看護安全/医療安全) 医学部1号館3階講堂

14:30～17:30 (PSP04:医療安全パネル討論会) 医療安全と医療メディエーション

オルガナイザー: 長谷川 奉延 (慶應義塾大学病院 医療安全対策室長、小児科教授)

(PSP04-1) 講師1: 医療メディエーション: 患者との対話モデル

和田 仁孝 (早稲田大学法学学術院教授)

(PSP04-2) 講師2: 医療安全と医療メディエーション ～ 医療安全管理者の立場から ～

月岡 澄子 (慶應義塾大学病院 医療安全対策室、医療安全管理者)

(PSP04-3) 講師3: 医療安全対策室から始まる院内医療メディエーションの取り組み

吉尾 めぐみ (慶應義塾大学病院 医療安全対策室、患者サポートセンター)

(PSP04-4) 講師4: 患者相談から医療安全へ ―筑波大学附属病院の医療メディエーション体制―

平井 理心 (筑波大学附属病院 医事課)

(PSP04-5) 講師5: 医療安全と医療メディエーション ～ 国立がん研究センター中央病院での活動 ～

依田 明久 (国立がん研究センター中央病院 患者相談室)

(PSP04-6) 講師6:

セーフティ・マネジメントとコンフリクト・マネジメントが協働できる組織機能の検討

河上 章恵 (武蔵野赤十字病院 医療安全推進センター 患者相談室)

討論

第1日目 終了

2016年3月5日(土)

(第6会場:看護安全/歯科安全/医療安全) 山上会館2階大講堂

9:00～10:30 (NSP03:看護安全パネル討論会) 看護師の患者対応のあり方

オルガナイザー: 土屋 和子 (久里浜クリニック)

- (NSP03-1) 透析クリニックでのクレームへの取り組み 青木 栄子 (稲毛駅前クリニック)
 - (NSP03-2) 在宅医療の一員としての検討 土屋 和子 (久里浜クリニック)
 - (NSP03-3) 医療事故対応と医療メディエーション 大野 浩正 (海老名総合病院医療安全管理室)
- 討論

10:30～12:00 (PSP05:医療安全パネル討論会) 弁護士の倫理研修の実態

概要: 医療安全管理者には適切な倫理研修が必要です。先行事例として日本弁護士会の活動を紹介していただきます。

オルガナイザー: 井上 清成

- (PSP05-1) 自律的な独立の団体である弁護士会による倫理研修
井上 清成 (井上法律事務所所長 弁護士 東京弁護士会所属)
 - (PSP05-2) 自律的な独立の団体である弁護士会による倫理研修
中山 修身 (中山・石村法律事務所所長 弁護士 元山口県弁護士会会長)
 - (PSP05-3) 自律的な独立の団体である弁護士会による倫理研修
石川 善一 (石川善一法律事務所所長 弁護士 元山梨県弁護士会会長)
- 討論

12:00～13:00 昼食

13:00～13:30 (SL04:特別講演) 医療事故調査制度に資する歯科診療関連死にまつわる医療裁判の解析

小室 歳信 (日本大学歯学部法医学講座教授)

13:30～15:00 (NSP04:看護安全パネル討論会)

組織としての再発防止への取り組み、周知・徹底、部門間の調整

オルガナイザー: 土屋 和子 (久里浜クリニック)

- (NSP04-1) 中規模個人病院での現状から
峰村 尚子 (太田総合病院 医療安全管理室)
 - (NSP04-2) 組織としての再発防止への取り組み ～大学附属病院の立場から～
堀田 まゆみ (東海大学医学部附属大磯病院 医療安全対策室次長)
 - (NSP04-3) クリニックにおける再発防止への取り組み
土屋 和子 (久里浜クリニック)
- 討論

15:00～17:00 (PSP06:医療安全パネル討論会)

医療事故再発防止のための医療事故調査制度に向けて～制度見直しに望むこと～

オルガナイザー: 木下 正一郎 (医療版事故調推進フォーラム事務局、弁護士)

- (PSP06-1) 市立甲府病院での乳幼児への放射線医薬品過剰投与事件の経験から事故調査制度に望むこと
宮原 久美子 (市立甲府病院放射線医薬品過剰投与被害者の会)
- (PSP06-2) 医療事故の対応としてこれからの病院がなすべきこと～医療対話推進者の存在意義
川田 綾子 (NPO法人架け橋)
- (PSP06-3) 医療事故調査制度見直し提言
小野寺 郁子 (東大公共政策大学院医療政策・教育研究ユニット医療政策実践コミュニティー (H-PAC) 5期「医療事故調査制度見直し提言」研究班、小野寺看護師事務所、看護師)

討論

第1日目 終了

2016年3月5日(土) 午後
(第7会場: 一般演題口演: 医療安全) 山上会館2階201室

13:00～14:00 **(一般演題口演: 医療安全-臨床コミュニケーション、医療安全教育)**

座長: 杉原 正子 (久里浜医療センター)

13:00～13:15 (GPS-1-01)

ひやりはっと小劇場でアサーティブなコミュニケーションを目指して

安藤 万寿美 (独立行政法人 国立病院機構 大分医療センター)

13:15～13:30 (GPS-1-02)

コミュニケーションカードから学ぶ4つの個性 臨床コーチングへの応用

木村陽子 木村光宏 (大腸肛門科 仙台桃太郎クリニック)

13:30～13:45 (GPS-1-03)

医療安全管理体制の実態と医療安全管理者研修のあり方に関する調査及び医療の質・安全管理
フィードバック支援システム開発

北野 達也

(星城大学 経営学部 医療マネジメントコース専攻長

星城大学大学院 健康支援学研究科 医療安全管理学講座 教授)

13:45～14:00 (GPS-1-04)

医学部における複数学年にわたる多層的な医療安全卒前教育の試み

旗手 俊彦 (札幌医科大学医療人育成センター)

14:00～15:45 **(一般演題口演: 医療安全-リスク情報)**

座長: 廣井 透雄 (国立国際医療研究センター病院)

14:00～14:15 (GPS-2-01)

オンライン・インシデントレポートシステム、その汎用化の試みについて ～当院開発例の紹介

野口 幸 (第二協立病院 内科)

14:15～14:30 (GPS-2-02)

医師インシデントレポート報告数の推移と重症度の検討

種井 隆文 (名古屋セントラル病院 脳神経外科、安全管理室)

14:30～14:45 (GPS-2-03)

インシデント・アクシデントレポートの自由記述を活用した医療安全教育ニーズの明確化

高島 真美

(兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科 医療法人医誠会本部 看護実践研修室)

14:45～15:00 (GPS-2-04)

インシデント報告書から見る『思いこみ』の現状と今後の展望

山田 晴美 (松風会 江藤病院 医療安全管理室)

15:00～15:15 (GPS-2-05)

入院死亡例調査について

平井 収 (神鋼記念病院医療安全管理室)

15:15～15:30 (GPS-2-06)

電子カルテ上の薬剤名変更やジェネリックへの切り替えに伴う、電子カルテ禁忌薬品電子監査
すり抜け防止対策

岸田 憲二 (医仁会武田総合病院 医療安全対策委員会)

15:30～15:45 (GPS-2-07)

介護職のヒヤリハット報告に対する意識調査と報告数の関連性

-介護職の医療事故防止委員会参加の効果の検証-

上田 麻里 (医療法人 桃李会 御殿山病院看護部医療事故防止委員会)

(続く)

2016年3月5日(土) 午後
(第7会場: 一般演題口演: 医療安全) 山上会館2階201室

15:45～17:00 (一般演題口演: 医療安全-その他)

座長: 星 真哉 (医療法人篠原湘南クリニック)

15:45～16:00 (GPS-3-01)

予防接種のインシデントを軽減するシステムの提案

上牧 務

静岡市立清水病院小児科

16:00～16:15 (GPS-3-02)

倫理教育における「慈しむ心に基づいた医療と介護の実践のすすめ」の提言

星 真哉

医療法人篠原湘南クリニック クローバーホスピタル 医療安全管理委員会委員長

16:15～16:30 (GPS-3-03)

国立病院機構と東海北陸グループの医療安全に対する試み

水津 博

独立行政法人国立病院機構長良医療センター副院長

16:30～16:45 (GPS-3-04)

医療安全、明石花火大会歩道橋群衆なだれ事故から学ぶ

大城孟 1) 2), 大城良太 1) 2), 大城智弥 2)

1) 大阪市東住吉区医師会, 2) おおしろクリニック

16:45～17:00 (GPS-3-05)

乗用エレベーターにまつわるインシデント2事例～医療機関内での扉挟まれ～

清水 潔

熊本市医師会 熊本地域医療センター

第1日目 終了

2016年3月5日(土) 午後
(第8会場: 一般演題口演 ―医療機器安全―)
山上会館2階202室

13:00～15:45 (一般演題口演: 医療機器安全)

座長: 青木 郁香 (公益財団法人医療機器センター 医療機器産業研究所)

13:00～13:15 (GMES-01)

在宅療法機器の安全使用を目的とした取り組み

工藤 絢子

聖隷横浜病院 臨床工学室

13:15～13:30 (GMES-02)

都立・公社病院におけるX線装置日常管理体制の運用

徳山 武一

東京都がん・感染症センター駒込病院放射線診療科

13:30～13:45 (GMES-03)

医療安全管理室と連携した医療機器安全管理の成果

深谷 隆史

国立国際医療研究センター病院 医療安全管理部門 臨床工学室

13:45～14:00 (GMES-04)

Uninterruptible Power Supply (UPS) からの電源供給遮断の要因

野川 悟史

昭和大学 統括臨床工学技術部 藤が丘病院 臨床工学室 医療安全管理室

14:00～14:15 (GMES-05)

離床検知装置 導入～運用までの臨床工学技士としての関わり

玉元 大輔

社会福祉法人 大阪暁明館病院 臨床工学科

14:15～14:30 (GMES-06)

Single-Use Device の医療安全におけるイノベーションに関する検討

渡邊 雅俊

国家公務員共済組合連合会 東海病院 臨床工学科

14:30～14:45 (GMES-07)

臨床工学技士の医療安全への取り組み

森光 祐輔

社会医療法人天神会 新古賀病院

14:45～15:00 (GMES-08)

ペン型注入器用注射針を取り外す器具の開発 ～第1報 工学的評価～

澤田 博幸

医療法人社団 寿量会 熊本機能病院

15:00～15:15 (GMES-09)

ペン型注入器用注射針を取り外す器具の開発 ～第2報 工学的評価～

澤田 博幸

医療法人社団 寿量会 熊本機能病院

15:15～15:30 (GMES-10)

貯水槽を地震から守れ! タンクセイバー波平さん設置報告

○榎本 和幸、佐久間 宏治、内海 展子、伊藤 あづみ、青野 芳子、金子 明子、川鍋 雄司、
石塚 俊治、佐藤 純彦

医療法人社団クレドさとうクリニック 透析室

15:30～15:45 (GMES-11)

診療報酬(医療機器安全管理料1)の算定状況による医療機器の安全管理に関する現状分析

青木 郁香, 中野 壮陸

公益財団法人医療機器センター 医療機器産業研究所

第1日目 終了

2016年3月5日(土) 午後
(第9会場: 医療安全、リスク情報) 山上会館2階203会議室

13:00～13:10 新代議員挨拶: 北野 達也(星城大学大学院健康支援学研究科医療安全管理学講座教授)
13:10～13:20 新代議員挨拶: 井上 清成(井上法律事務所所長、弁護士)
13:20～13:30 新代議員挨拶: 秋野 裕信(福井大学医学部附属病院医療安全管理部教授)
13:30～13:40 新代議員挨拶: 野坂 佳生(弁護士・金沢大学法科大学院教授)

13:40～15:10 **(PSP07:医療安全パネル討論会ーリスク情報パネル分野)**
重症系部門システムとHIS電子カルテベンダーシステムの情報相互接続性の問題と対策
開催責任者 松村 由美(京都大学医学部附属病院 医療安全管理室長)

13:30～14:00 (PSP07-1)
電子カルテシステムHISと重症系部門システム間連携に起因したインシデントの分析と対応
水本 一弘(和歌山県立医科大学 医療安全推進部・麻酔科学 教授)
(概要) 電子カルテシステム(HIS)と重症系部門システム間連携に起因したインシデントを分析すると、いずれかのシステム更新に伴い発生した情報伝達障害などシステム因子によるものと、電子カルテ側からの部門システム内を閲覧する手順が複雑、面倒であるために必要な情報収集業務を怠ったことによる人的因子によるものが認められた。実例を提示して検証する。

14:00～14:30 (PSP07-2)
総合医療情報システム(CIS)と重症部門システムの情報連携の課題
松村 由美(京都大学医学部附属病院 医療安全管理室長)
(概要) 基幹部門の電子カルテと重症部門コンピューターシステム(バイタルサイン用)の情報連携における不具合は甚大な医療ミスにつながるため、その実態とその調整方法を病院の事例を踏まえて検討する。

14:30～15:00 討論

第1日目 終了

2016年3月5日(土) 午後

(第10会場: 一般演題口演 ――歯科安全、医薬品安全) 山上会館地下1階101会議室

13:00～14:00 (一般演題口演: 歯科安全パネル)

座長: 宮本 智行 (東京医科歯科大学歯学部)

13:00～13:15 (GDES-01)

歯科外来におけるチェックリスト活用の現状

高木 純一郎¹⁾ 宮田 勝¹⁾ 名倉 功¹⁾ 竹中 望²⁾

1) 石川県立中央病院歯科口腔外科 2) 石川県歯科医師会医療管理部

13:15～13:30 (GDES-02)

スタッフの針刺し事故を経験して より安全な歯科の局所麻酔環境を考える

河村 啓司

河村歯科医院

13:30～13:45 (GDES-03)

安全なケア提供を継続的に行うには 一点滴自己抜針削減後のスタッフの意識調査の分析から一

森谷 和エ

岡山旭東病院 看護部 本館北2階病棟

14:00～14:30 (一般演題口演: 医薬品安全)

座長: 下堂 蘭 権洋 (九州保健福祉大学教授)

14:00～14:15 (GDRS-01)

入院前からの薬剤師による早期介入の有用性の評価 ～入院前検査センターでの薬剤師の取り組み～

奥貞 智¹⁾、瓜生原 健嗣²⁾、橋田 亨¹⁾

神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部¹⁾

神戸市立医療センター中央市民病院入院前検査センター²⁾

14:15～14:30 (GDRS-02)

携帯情報端末 (PDA) を用いた調剤関連インシデントの防止

神崎 浩孝¹⁾、小沼 利光¹⁾、定金 典明¹⁾、吉岡 靖史¹⁾、丸山 雅道^{2), 3)}、森田 幸子^{2), 3)}、
鉄永 倫子^{2), 4)}、檜崎 真理子^{2), 5)}、岩月 啓氏^{2), 6)}、北村 佳久¹⁾、千堂 年昭¹⁾

1) 岡山大学病院・薬剤部、2) 医療安全管理部、3) 看護部、4) 整形外科、

5) 腎臓・糖尿病・内分泌内科、6) 岡山大学大学院・医歯薬学総合研究科・皮膚科学

第1日目 終了

2016年3月5日(土) 午後

(第11会場: 医療安全パネル/一般演題口演 --チーム医療の安全) 山上会館地下1階102会議室

13:00～14:20 (PSP08:医療安全パネル討論会) 日本における TeamSTEPPS の現場へ導入とその課題

オルガナイザー: 辰巳 陽一 (近畿大学付属病院医療安全管理部教授)

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| (PSP08-1) TeamSTEPPS 導入の問題点とその考え方 | 辰巳 陽一 (近畿大学医学部附属病院安全管理部) |
| (PSP08-2) TeamSTEPPS 活用の現状と対応 | 海渡 健 (慈恵医科大学附属病院医療安全推進室) |
| (PSP08-3) TeamSTEPPS 導入の現場レベルでの工夫 | 浅尾 真理子
(済生会松阪総合病院 医療安全管理室) |
| (PSP08-4) TeamSTEPPS 導入から実践へ
討論 | 渡邊 正志 (東邦大学医療センター大森病院 医療安全管理部) |

14:20～17:30 (一般演題口演: チーム医療による医療安全パネル)

座長: 海渡 健 (東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部教授)

14:20～14:35 (GPS-4-01)

慈恵医大附属病院臨床工学部における TeamSTEPPS 推進への取り組み

渡邊拓也 1) 奥田晃久 1) 菅原洋一 1) 岩谷理恵子 1) 平塚明倫 1) 海渡健 2)

1) 東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部、2) 東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部

14:35～14:50 (GPS-4-02)

慈恵医大附属病院臨床工学部における TeamSTEPPS の推進への取り組み:

ゲーム性の導入パート2 ～サイコロデブリーフィング～

遠藤智久 共同演者: 原田学、堀川麻衣子、平木将、岩谷理恵子、平塚明倫、海渡健
東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部、東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部

14:50～15:05 (GPS-4-03)

慈恵医大附属病院臨床工学部における TeamSTEPPS 推進への取り組み:

導入効果の見える化(数値化)～Check-Backの実践～

遠藤 友哉 1) 市川 善浩 1) 滝澤 啓太 1) 岩谷 理恵子 1) 平塚 明倫 1) 海渡 健 2)

1) 東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部、2) 東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部

15:05～15:20 (GPS-4-04)

慈恵医大附属病院臨床工学部における TeamSTEPPS 推進への取り組み:

ゲーム性の導入パート1 ～ヘルプカード～

川尻 将守 1) 石川 尚生 1) 高橋 光太 1) 根本 和征 1) 岩谷 理恵子 1)

平塚 明倫 1) 海渡 健 2)

1) 東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部、2) 東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部

15:20～15:35 (GPS-4-05)

慈恵医大附属病院臨床工学部における TeamSTEPPS 推進への取り組み:

相互支援や安全性、労働生産性向上につなげる ～ハドルの実践～

佐々木 雄一 1) 児島 徹 1) 井上 愛 1) 黒田 祐規 1) 岩谷 理恵子 1)

平塚 明倫 1) 海渡 健 2)

1) 東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部、2) 東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部

15:35～15:50 (GPS-4-06)

慈恵医大附属病院臨床工学部における TeamSTEPPS 推進への取り組み:

TeamSTEPPS を理解するための取り組み ～ポスター作成～

安藤 理香 1) 角田 裕志 1) 池田 潤平 1) 岩谷 理恵子 1) 平塚 明倫 1)

海渡 健 2)

1) 東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部、2) 東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部

(続く)

2016年3月5日(土) 午後

(第11会場: 医療安全パネル/一般演題口演 --チーム医療の安全) 山上会館地下1階102会議室

座長: 海渡 健 (東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部教授)

15:50～16:05 (GPS-4-07)

慈恵医大附属病院脳神経外科病棟における TeamSTEPPS の活用

～回診前ブリーフィングの有効性～

森 良介*1, 川村大地*1, 南塚 恵*2, 桝窪美春*2

*1 東京慈恵会医科大学附属病院脳神経外科 *2 同 16H 病棟

16:05～16:20 (GPS-4-08)

慈恵医大附属病院中央検査部における TeamSTEPPS への取り組み

～取り組みの経緯と効果検証ならびに問題点について～

吉見珠美、高松久美子、小林 清、鈴木恒夫、池田勇一、海渡 健

東京慈恵会医科大学附属病院中央検査部

16:20～16:35 (GPS-4-09)

TeamSTEPPS の院内全部署での活用に向けた取り組み

北條 文美、藤原 喜美子、海渡 健、廣瀬 俊昭、中村 駿、近藤 和典、大黒 博之、
三森 教雄、小川 武希

東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部 医療安全推進室

16:35～16:50 (GPS-4-10)

Team STEPPS の薬学部実務実習への導入とその効果

島元 健次

近畿大学医学部附属病院 薬剤部

16:50～17:05 (GPS-4-11)

「チーム Ai」で取り組んだ 事故調査制度 支援団体技術支援 Ai への手上げ

山下 美佳

医療法人社団 誠馨会 新東京病院 医療安全管理室

17:05～17:30 総合討論

第1日目 終了

2016年3月5日(土)

(第13会場: 看護安全/臨床医学安全) 医学教育研究棟13階第6セミナー室

9:00～10:30 (CSP01:臨床医学安全パネル討論会) 診療単位のリスクガードをどのように構築すべきか

オルガナイザー: 渡邊 正志 (東邦大学医療センター大森病院医療安全管理部教授)

講演各15分

- (CSP01-1) Team STEPPSから学ぶ STEP リスクの波をいかにモニタリングするのか
内藤 智子 (東邦大学医療センター大森病院 医療安全管理部)
 - (CSP01-2) Team STEPPSから学ぶ Briefing・Huddle・Debriefingによるリスクガード
辰巳 陽一 (近畿大学医学部附属病院 安全管理部)
 - (CSP01-3) ハイリスクカンファレンスによるリスクガード
三森 教雄 (東京慈恵会医科大学 外科学講座 同 医療安全管理部)
 - (CSP01-4) 術中・術後におけるWHO「手術安全チェックリスト」によるリスクガード
近江 明文 (東京医科大学八王子医療センター副院長(手術部部長 医療安全室長) 麻酔科)
- 討論 30分

10:30～12:00 (NSP05:看護安全パネル討論会) 転倒転落事故の上手な予防と対処

オルガナイザー: 土屋 和子 (久里浜クリニック)

- (NSP05-1) 透析クリニックでの転倒転落対策
土屋 和子 (久里浜クリニック)
- (NSP05-2) 事例から学ぶ転倒・転落の対策
堀田 まゆみ (東海大学医学部附属大磯病院 医療安全対策室次長)
- (NSP05-3) 転倒転落対策に理学療法士の協働とPNS® (Partnership Nursing System)による効果
藪田 雅子 (海老名総合病院 看護部)

討論

12:00～13:00 昼食

13:00～14:30 (NSP06:看護安全パネル討論会) 看護師の投薬業務の安全性

オルガナイザー: 新村 美佐香 (菊名記念病院 医療安全管理室)

- (NSP06-1) 薬剤師からみた看護師の投薬業務の安全性 伊藤 裕康 (豊岡中央病院薬剤部)
- (NSP06-2) 看護師の立場から 新村 美佐香 (菊名記念病院 医療安全管理室)
- (NSP06-3) 医療安全管理者の立場から
～看護師と薬剤師が連携した配薬業務手順で誤配薬『ゼロ』を目指す～
大野 浩正 (海老名総合病院 医療安全管理室)

討論

14:30～16:30 (CSP02:臨床医学安全パネル討論会)

集中治療における医療安全、小児集中治療における医療安全

座長: 佐和 貞治 (京都府立医科大学麻酔科学教室教授 京都府立医科大学附属病院医療安全部部長)

オルガナイザー: 徳平 夏子 (京都第一赤十字病院 麻酔科集中治療部)

- (CSP02-1) 集中治療室に再入室を要した小児症例の検討
嶋岡 英輝 (大阪市立総合医療センター副院長 集中治療センター長)
- (CSP02-2) 当院集中治療室(PICU)におけるインシデント、アクシデントの現状
永渕 弘之 (神奈川県立こども医療センター 集中治療科部長)
- (CSP02-3) 安全な入退室の検討について
大澤 智美 (京都府立医科大学 医療安全部)
- (CSP02-4) PICU退室時医療介入と再入室との関係
徳平 夏子 (京都第一赤十字病院 麻酔科集中治療部)

討論

第1日目 終了

2016年3月5日(土)午後
(第14会場: 一般演題口演 ―― 臨床医学安全) 医学教育研究棟13階第7セミナー室

13:00～16:15 **(一般演題口演: 臨床医学安全)**

座長: 高井 雄二郎 (東邦大学)

13:00～13:15 (GCS-01)

高浸透圧造影剤のくも膜下腔内投与による中枢神経障害

島田 亮、江崎 治朗、木林 和彦

東京女子医科大学医学部法医学講座

13:15～13:30 (GCS-03)

手術・処置・検査合併症に対するIVR(画像下治療)

中塚 誠之

慶應義塾大学医学部放射線診断科

13:30～13:45 (GCS-04)

手術、処置合併症の発見、連絡体制とIVR治療に関する放射線科の役割

岡村 哲平

慶應義塾大学医学部 放射線診断科

13:45～14:00 (GCS-05)

無脈性心室頻拍に対し自動体外式除細動器がショック不要と診断した症例を経験して

川上 千晶1) 塚本 伶央奈1) 山田 文哉1) 萬家 俊博2)

愛媛大学医学部附属病院 ME機器センター1) 同病院麻酔科蘇生科2)

14:00～14:15 小休憩

14:15～14:30 (GCS-07)

血液浄化 Hand-Of シートの作成・運用

河村明子

近畿大学医学部附属病院人工透析部

14:30～14:45 (GCS-08)

藤田保健衛生大学病院の「多職種」、「地域」、そして「大学教育」の連携による化学療法によるB型肝炎の再活性化対策の取り組み

河田健司(1)、船橋依理子(1)、加藤久乃(1)、水野健二(2)、村嶋清貴(3)、

池田義明(4)、村井淑恵(4)

(1) 藤田保健衛生大学病院 臨床腫瘍科 (2) 同、看護部、(3) 同、薬剤部、

(4) 金城学院大学薬学部

14:45～15:00 (GCS-09)

当院におけるEAT-10を用いた高齢嚥下障害患者に対する取り組み

大洞 佳代子

近畿大学医学部附属病院リハビリテーション科

15:00～15:15 (GCS-10)

救急カート中央管理化による運用

御園 恒一郎

日本医科大学千葉北総病院 ME部

15:15～15:30 (GCS-11)

病院内テナントでの急変時対応の問題点と対策

水本 一弘

和歌山県立医科大学付属病院 医療安全推進部・麻酔科

15:30～15:45 (GCS-12)

検査データ解析からアプローチする医療安全向上への取り組み

大庭 恵子

聖隷浜松病院 臨床検査部

(続く)

2016年3月5日(土)午後
(第14会場: 一般演題口演 --- 臨床医学安全) 医学教育研究棟13階第7セミナー室

座長: 高井 雄二郎 (東邦大学)

15:45～16:00 (GCS-13)

内視鏡検査・治療におけるブリーフィングの現状

小倉 直美

近畿大学医学部附属病院 光学治療センター

16:00～16:15 (GCS-02)

当院におけるがん関連緊急入院実態調査

柳本 泰明

関西医科大学附属枚方病院 外科

第1日目 終了

一般演題(ポスター発表)

3月5日(土) (第15会場: 安田講堂回廊ロビー)

ポスター討論: 13時～14時、当該ポスター横にて。

座長・進行: 小林 肇 (東京フェリシアレディースクリニック)

(POS-1-01)

転倒転落予防観察シート活用の実例

前埜 亜沙美

独立行政法人労働者健康福祉機構千葉労災病院看護部 4階西病棟 (脳神経外科・神経内科)

(POS-1-02)

転倒予防に向けた廃用症候群予防パノフレットの効果

渡邊 初美

東京都立墨東病院 看護部 13B病棟

(POS-1-03)

歯科治療中の患者生命の安全確保のためのシステム構築とその合理性の検討

橋本知永子¹ 仙波史生² 添田博充³

1, 3 医療法人添田歯科医院 2 伊勢原総合法律事務所

(POS-1-04)

歯科インプラントに係る訪問歯科診療(在宅・施設)の相談窓口の開設について

升谷 滋行

日本大学歯学部歯科保存学第I講座

(POS-1-05)

小児の歯科医療におけるリスク要因と安全対策

武井 浩樹

日本大学歯学部小児歯科学講座

(POS-1-06)

血液透析療法における業務構造の可視化による改善にむけて

川崎 淳一

東京慈恵会医科大学附属柏病院 臨床工学部

(POS-1-07)

採血における患者誤認“0”レジリエンスアプローチ

根本 ゆき

防衛医科大学校病院 医療安全推進室

(POS-1-08)

精度の高いダブルチェック方法を導入するための取り組み

後藤 保子

独立行政法人国立病院機構千葉東病院

(POS-1-09)

内服管理方法の統一 ～内服管理チェックシートの導入～

佐々木 梢

財団法人平成紫川会小倉記念病院

(POS-1-10)

内服投与時の5R指差し呼称実施率100%を目指して ～安全文化の構築に向けて～

佐伯 美由紀

愛媛県立中央病院 NICU

(POS-1-11)

スルホンアミド類似構造由来の薬物過敏症～医薬品添付文書記載の問題点と文献的考察～

田中博之¹⁾、篠原悦子¹⁾、佐藤光利²⁾、石井敏浩¹⁾

1) 東邦大学薬学部 実践医療薬学研究室、2) 明治薬科大学 医薬品安全性学研究室

(POS-1-12)

緊急同報メール発報(コードブルー)の現状

丸山雅道^{1) 2)}、森田幸子^{1) 2)}、鉄永倫子^{1) 2)}、檜崎真理子^{1) 2)}、岩月啓氏^{1) 3)}

1) 岡山大学病院 医療安全管理部 2) GRM 3) 医療安全管理部長、副病院長

第1日目終了

第2回日本医療安全学会学術総会

(第2日目プログラム)

2016年3月6日(日)

受付: 8:00～13:00 安田講堂玄関回廊ロビー
13:00～18:00 医学部鉄門記念講堂ロビー

会場:

(第1会場) 安田講堂
(第2会場) 医学部鉄門記念講堂
(第3会場) 医学部2号館本館1階講堂
(第4会場) 医学部1号館1階講堂
(第5会場) 医学部1号館3階講堂
(第13会場) 医学教育研究棟13階第6セミナー室
(第14会場) 医学教育研究棟13階第7セミナー室: 午後のみ。総会本部、講師控室
(第15会場) 安田講堂回廊ロビー: 午前中のみ。受付、企業展示
(第16会場) 医学部鉄門記念講堂ロビー: 午後のみ。受付、ポスター発表、企業展示
(第18会場) 安田講堂控室: 午前中のみ。総会本部、講師控室

2016年3月6日(日)
(第1会場: 医療安全) 安田講堂

9:00～9:10 第2回学術総会共同総会長挨拶(2)
(3) 小野 稔 (東大病院心臓血管外科学教授)

9:10～11:10 (SP04: シンポジウム 4) 医療安全の国家長期ビジョン——医療事故死亡ゼロ世界へ向けて

概要: 医療安全の長期目標を策定し、国家戦略の方向性を検討する。

オルガナイザー: 酒井 亮二 (日本医療安全学会理事長)

座長: 阿部 知子 (衆議院議員、東大医学部卒、小児科医)

東條 有伸 (東大医科学研究所附属病院腫瘍内科教授、副院長、医療安全感染制御センター長)

長谷川 奉延 (慶應義塾大学附属病院医療安全管理室室長、小児科教授)

松村 由美 (京都大学附属病院病院教授、医療安全管理室室長)

9:10～9:30 (SP04-1) 医療政策の立場から: 阿部 知子 (衆議院議員、東大医学部卒、小児科医)

9:30～9:50 (SP04-2) 医療安全の立場から: 松村 由美 (京都大学附属病院病院教授、医療安全管理室室長)

9:50～10:10 (SP04-3) 医療安全の立場から:

長尾 能雅 (名古屋大学附属病院医療の質・安全管理部教授、同副院長)

10:10～10:30 (SP04-4) 医薬品安全の立場から:

橋田 亨 (神戸市立医療センター中央市民病院・院長補佐兼薬剤部長)

10:30～11:10 総合討論

11:10～12:00 (EL02: 教育講演) 品質管理の考え方と医療の安全

藤本 隆宏 (東京大学大学院経済学系研究科教授、東京大学ものづくり経営研究センター)

概要: 戦後に日本政府では品質管理運動を産業技術向上のための国家戦略として導入し、世界に冠たる各種の製造業界が出現しました。その結果、日本では品質管理が世界一高度に進んでおり、また大変複雑です。今回、その専門家をお招きして品質管理の体系をご紹介します。

12:00～12:30 (SL11: 特別講演) 臓器移植を安全に行うためのシステム作り ～トロント大学での経験

座長: 小野 稔 (東大病院心臓血管外科学教授)

安樂 真樹 (東京大学医学部 医療安全管理室学 准教授)

13:00 以降 本会場は閉室します。

2016年3月6日(日)午後
(第2会場: 医療安全) 医学部鉄門記念講堂

13:00～13:30 (SL05:特別講演) 謝罪の適切なタイミングとは
井上 清成 (井上法律事務所所長 弁護士)

13:30～14:30 (EL08:教育講演) 認知的インタラクションにおけるトラブル
—メンタルモデルとヒューマンインタフェースの役割
古川 宏 (筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻准教授)

(概要) 使いやすいシステム、作業しやすい場の実現には、人の特性や限界を理解した上での設計・構築が必要である。本講演では、事例を用いた認知的トラブルの説明と、これに対応するための認知工学的アプローチについて概説する。特に、システムに関する知識であるメンタルモデルと、情報をユーザへ提供するヒューマンインタフェースに注目する。

14:30～16:30 (PSP09:医療安全パネル討論会) 院内教育をどのようにするか
オルガナイザー: 秋野 裕信 (福井大学医学部附属病院医療安全管理部教授)

- (PSP09-1) 院内感染抑止のための院内教育 —Antimicrobial stewardship program を含めて—
岩崎 博道 (福井大学医学部附属病院 感染制御部)
- (PSP09-2) 医療安全推進活動への取り組みから 院内教育のあり方を考える
小瀬 裕美子 (名古屋第二赤十字病院 医療安全推進室)
- (PSP09-3) Team STEPPS の院内教育
辰巳 陽一 (近畿大学医学部附属病院 安全管理部)
- (PSP09-4) 院内医療安全教育: 参加者を増やすための工夫
松村 由美 (京都大学医学部附属病院 医療安全管理部)
- (PSP09-5) RRS 導入から定着までの院内教育の実践
竜 トシ子 (聖マリアンナ医科大学病院 医療安全管理室)

討論

16:30～17:50 (PSP10:医療安全パネル討論会) ダブルチェックを合理的に再考する
オルガナイザー: 松村 由美 (京都大学医学部附属病院病院教授、医療安全管理室長)

- 16:30～16:50 (PSP10-1) 信頼性の論理からみたダブルチェックの有用性とその限界
小松原 明哲 (早稲田大学理工学術院教授)
(概要) 医療安全におけるダブルチェックの位置づけと、あるべき姿、効果的なチェック方法について考えてみたい。
- 16:50～17:10 (PSP10-2) そのダブルチェック本当に必要ですか? (2): ダブルチェックの目的化
松村 由美 (京都大学医学部附属病院 医療安全管理部・病院教授)
(概要) ダブルチェックはエラーを減らすための「手段」である。しかし、ダブルチェックが目的となってしまうと(手段の目的化)、ダブルチェックをすることに満足してしまい、結局エラーを発見できていない。ダブルチェックをする的を絞って、ダブルチェックの数を減らすべきではないか。
- 17:10～17:30 (PSP10-3) チーム医療の視点から見た確認の考え方とその改善
辰巳 陽一 (近畿大学医学部附属病院 安全管理部・医療安全対策室教授)
(概要) 単純にダブルチェックさえすれば事故が無くなるのだろうか。チーム医療のなかで、想定した業務の流れ(work-as-imagined)と現実の業務の流れ(work-as-done)を調整するという作業の意味を踏まえ考えてみたい。

17:30～17:50 総合討論

第2日目 終了

2016年3月6日(日)
(第3会場: 歯科安全/医療安全) 医学部2号館本館1階講堂

9:00～10:00 (SL06:特別講演) 歯科医療における医療安全への取り組み

座長: 白川 哲夫 (日本大学歯学部小児歯科教授)
住友 雅人 (日本歯科医学会 会長)

10:00～11:00 (SL07:特別講演) 歯科医療において注意すべき感染症とその予防対策

砂川 光宏 (東京医科歯科大学口腔機能再構築学講座 歯髄生物学 准教授)

11:00～12:00 (SL08:特別講演) 歯科麻酔科での安全対策のあり方

深山 治久 (東京医科歯科大学・生体管理学分野教授)

12:00～13:00 昼食

13:00～14:30 (DS01:歯科医療安全パネル討論会)

インプラント治療に伴う医療事故・医事紛争とその対応法

座長: 白川 哲夫 (日本大学歯学部小児歯科教授)

(DS01-1) 歯科インプラントと医療事故

塩田 真 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科インプラント・口腔再生医学分野准教授)

(DS01-2) 超高齢社会におけるインプラント治療の問題点

萩原 芳幸 (日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座准教授)

(DS01-3) 歯科インプラントと医事紛争 ―法曹の立場から―

中藤 亮平 (小西貞行法律事務所弁護士)

討論

14:30～16:00 (PSP11:医療安全パネル討論会) 地域が医療安全を担保するPDCAサイクルの構築

～愛知県がん診療連携拠点病院協議会PDCAサイクル推進検討部会の取り組み～

オルガナイザー: 河田 健司 (藤田保健衛生大学医学部臨床腫瘍科)

長尾 能雅 (名古屋大学付属病院医療の質・安全管理部教授、同副院長)

(PSP11-1) 愛知県がん診療連携拠点病院協議会PDCAサイクル推進検討部会の取り組み

河田 健司 (藤田保健衛生大学医学部臨床腫瘍科)

(PSP11-2) PDCAサイクルを活用したがん化学療法における安全対策への取り組み

抗がん剤の職業曝露防止について

松浦 美聡 (名古屋第二赤十字病院 看護部)

(PSP11-3) HBV再活性化対策を通じたがん診療の均てん化の推進～愛知県薬剤師分科会の取り組み～

黒田 純子 (名古屋市立大学病院 薬剤部)

討論: チーム作りの実際、職種毎の分科会、および地域が均てん化を担保するシステムについて

(続く)

2016年3月6日(日)
(第3会場: 歯科安全/医療安全) 医学部2号館本館1階講堂

16:00～17:30 (PSP12:医療安全パネル討論会) 危機対応シミュレーションのあり方

座長: 永山 正雄 (国際医療福祉大学熱海病院 神経内科 同脳卒中・神経センター教授)

(PSP12-1) 事象発生後対応シミュレーションコースの開発とその意義

永山 正雄 国際医療福祉大学熱海病院 神経内科 同脳卒中・神経センター教授

(PSP12-2) 事象発生後対応チーム評価シート」の作成について

～事象発生後シミュレーション研修の実践に向けて～

○ 鈴木 高弘 1, 2, 横山 直司 3, 4, 永山 正雄 5

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 国際医療福祉大学熱海病院 薬剤部 | 2. 国際医療福祉大学 薬学部 |
| 3. 国際医療福祉大学熱海病院 看護部 | 4. 国際医療福祉大学熱海病院 安全管理室 |
| 5. 国際医療福祉大学熱海病院 神経内科 | |

(PSP12-3) 事象発生後対応評価シートを活用した新たなチーム対応行動の開発について

横山 直司 国際医療福祉大学熱海病院 看護部副部長、
同病院 医療安全管理室 室長代理、同病院 院内安全管理者

(PSP12-4) 当院における急変時対応研修の取り組み

西川 三恵子 近畿大学医学部附属病院 安全管理部 医療安全対策室

討論

第2日目 終了

2016年3月6日(日)

(第4会場: 医薬品安全/医療安全/臨床医学安全) 医学部1号館1階講堂

9:00～10:30 (MEP06: 医薬品安全パネル討論会)

対物業務から対人業務へシフトするための医療安全対策 ～かかりつけ薬剤師になるために～
オルガナイザー: 坂口 眞弓 (みどり薬局、千葉大学医学薬学府)

- (MEP06-1) 薬剤師 3.0 ～超高齢社会に求められる新しい薬局・薬剤師像とは～
狭間 研至 (ファルメディコ株式会社)
- (MEP06-2) かかりつけ薬剤師になるために～医薬品情報入手についての現状と問題点～
坂口 眞弓 (みどり薬局、千葉大学医学薬学府)
- (MEP06-3) 薬局薬剤師による高齢患者の腎機能評価に基づく処方箋調剤のあり方への提言
松本 有右 (八王子薬剤センター)
- (MEP06-4) クリニック勤務薬剤師としての関わり～かかりつけ薬剤師になるために～
八田 重雄 (多摩ファミリークリニック)

討論

10:30～11:00 (SL09: 特別講演) HRO (高信頼性組織) を目指した安全文化醸成のための院内管理者研修

海渡 健 (慈恵会医科大学病院医療安全管理部教授)

11:00～12:00 (EL09: 教育講義) 患者・家族に信頼される組織 – インフォームドコンセント(IC)の役割

加藤 久雄 (弁護士、慶應義塾大学法学部元教授、生命倫理)

概要: ICの目的は、患者の納得する医療を提供することにある。そのために、ICをすべての治療過程に一貫して実施することは、患者・家族から高い信頼性を生む。そのために必要なICのあり方を講義する。

12:00～13:00 昼食

13:00～14:30 (SP05: シンポジウム 5) プロジェクトリスクマネジメント

概要: 医療は様々なプロジェクト(診療部、看護部、手術部門、薬剤部門、外来部門、医療情報部門、医務部など)が連結して行われる。プロジェクト間の情報交換エラーが甚大な患者死亡数を発生してきた。プロジェクトエラーを管理する新先端科学・技術を紹介していただきます。

座長・オルガナイザー: 酒井 亮二 (日本医療安全学会理事長)

13:00～14:00 (SP05-1) プロジェクトリスクマネジメントの基本的考え方と方法
茂木 源人 (東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学准教授)

14:00～14:30 (SP05-2) システム開発における統合型プロジェクトマネジメント
梅田 弘之 (株式会社システムインテグレータ 代表取締役社長)
(概要) プロジェクトマネジメントの世界標準 PMBOK の 10 エリアをツールで統合管理し、
全ステークホルダーの見える化を実現して失敗リスクを軽減する最先端の仕組み。

14:30～16:00 (CSP03: 臨床医学安全パネル討論会) 診療科に共通する安全管理の基本は何か

オルガナイザー: 渡邊 正志 (東邦大学医療センター大森病院医療安全管理部教授)

- 14:30～14:45 (CSP03-1) 安全な CV ライン管理体制」の組織的取り組み
三木 保 (東京医科大学 医療の質・安全管理学)
- 14:45～15:00 (CSP03-2) 院内鎮静についての体制 寺嶋 克幸 (三井記念病院 麻酔科)
- 15:00～15:15 (CSP03-3) 医師のインシデントレポート: 報告をする安全文化の醸成
亀森 康子 (自治医大さいたま医療センター医療安全管理室)
- 15:15～15:30 (CSP03-4) 名古屋大学病院版 M&M カンファレンスとその教育
安田 あゆ子 (名古屋大学附属病院 医療の質・安全管理部)

15:30～16:00 総合討論

(続く)

2016年3月6日(日)
(第4会場: 医薬品安全/医療安全/臨床医学安全) 医学部1号館1階講堂

16:00～17:10 (PSP13:医療安全パネル討論会) 医療の質の評価による医療安全の向上

オルガナイザー: 高井 雄二郎 (東邦大学医療センター大森病院 准教授)

- 16:00～16:20 (PSP13-1) DPC データから質評価を行う適切な手法
今井 志乃ぶ (国立病院機構総合研究センター診療情報分析部主任研究員)
- 16:20～16:35 (PSP13-2) DWH データから質評価を行う手法
高井 雄二郎 (東邦大学医療センター大森病院)
- 16:35～16:55 (PSP13-3) 質評価の選択と公表の実際
浦松 雅史 (東京医科大学医療の質安全管理学講座)
- 16:55～17:10 討論

第2日目 終了

2016年3月6日(日)

(第5会場: 看護安全/医療安全/臨床安全) 医学部1号館3階講堂

9:00～11:30 (NSP07:看護安全パネル討論会) 看護師の医療安全教育の在り方
オルガナイザー: 三上 久美子 (横浜市立みなと赤十字病院 医療安全推進課)

- (NSP07-1) 新人看護師の安全教育の在り方
峰村 尚子 (太田総合病院 医療安全管理室)
- (NSP07-2) 新人看護師の安全教育の在り方 ～新人の指導担当者へのアプローチ～
大原 志歩 (済生会横浜市東部病院 TQM センター 医療安全管理室)
- (NSP07-3) 看護師の段階的な安全教育の在り方
三上 久美子 (横浜市立みなと赤十字病院 医療安全推進課)

討論

10:30～12:00 (NSP08:看護安全パネル討論会) 看護の機能・役割と安全
司会・進行 藤井 千枝子 (慶應義塾大学看護医療学部 教授)

- (NSP08-1) 「人々をつなぐ」看護の力を生かした安全の推進
藤井 千枝子 (慶應義塾大学看護医療学部 教授)
- (NSP08-2) 大学病院での医療安全と連携
根本 ゆき (防衛医科大学校病院 医療安全推進室 ゼネラルリスクマネージャー)
- (NSP08-3) 看護部による安全推進と看護体制の構築
楠田 清美 (国際親善総合病院 看護部長)

討論

12:00～13:00 昼食

13:00～14:00 (EL10:教育講演-看護安全)
医療安全と質向上のためのヒューマンファクターズの考え方と方法
司会・進行 慶應義塾大学看護医療学部 藤井千枝子
演者 小松原 明哲 (早稲田大学理工学術院教授)

14:00～15:45 (PSP14:医療安全パネル討論会) 薬害・医療事故の教訓と被害者たちが求めてきた医療安全
(PSP14-1) 薬害・医療事故の歴史を医療安全に生かすために

- 人選中
- (PSP14-2) 薬害エイズ事件の教訓と化血研問題等の背景と課題
花井 十伍 (全国薬害被害者団体連絡協議会代表世話人)
- (PSP14-3) サリドマイド薬害の教訓と再発防止のための TERMS の課題
佐藤 嗣道 (公益財団法人いしずえサリドマイド福祉センター理事長)
- (PSP14-4) 被害者たちはなぜ医療事故調査制度を求めてきたのか
宮脇 正和 (医療過誤原告の会会長)
- (PSP14-5) 医療安全のために欠かせない情報開示・情報共有
勝村 久司 (医療情報の公開・開示を求める市民の会代表世話人)

討論

15:45～17:45 (CSP04:臨床医学安全パネル討論会)
医療安全を捉え直す～医療の質・安全管理の新たな手法～
オーガナイザー: 北野 達也 (星城大学経営学部健康マネジメント系医療マネジメントコース)

- (CSP04-1) 医療安全ツールとしての可能性を探る
～ウェアラブルグラスを用いた医療機器操作・管理用コンテンツの紹介～
田仲 浩平 (東京工科大学 医療保健学部 臨床工学科 教授)
- (CSP04-2) 医療安全を捉え直す～医療事故調査制度と医療安全管理者の使命～
真下 泰 (独立行政法人地域医療機能推進機構 札幌北辰病院 医療安全室室長)
- (CSP04-3) 医療安全を捉え直す～医療の質・安全管理の新たな手法～
北野 達也 (星城大学経営学部健康マネジメント系医療マネジメントコース主任・専攻長、教授)
- 質疑応答

第2日目 終了

2016年3月6日(日)
(第13会場:医療安全) 医学教育研究棟13階第6セミナー室

9:00～10:00 (EL11:教育講演) Safety-I と Safety-II: ヒューマンファクターズの二つのアプローチ
小松原 明哲 (早稲田大学理工学術院教授)

10:00～11:00 (EL12:教育講演) RCAの基本、および現場的使い方
岡田 有策 (慶應義塾大学理工学部管理工学科ヒューマンファクター研究室教授)

11:00～12:00 (EL13:教育講演) 危機管理の基本
加藤 直樹 (防衛大学准教授)
概要: 医療界には様々な危機問題が発生します。そこで、日頃危機管理の講義を担当されている専門家をお招きして、その基本的考え方を紹介していただきます。

12:00～13:00 昼食

13:00～14:30 (PSP15:医療安全パネル討論会)
地域中核病院における医療安全文化の醸成と医療安全ガバナンスの構築
オルガナイザー・座長: 楠本 茂雅 (ベルランド総合病院クオリティ管理センター副部長・医療安全管理室長)

(PSP15-1) 総合的感染制御システム (Total Infection Control System) の構築
太田 真希 (感染管理室長 室長 (ICN))

(PSP15-2) 急病救急センターにおけるハイリスク・マネジメントシステムの構築
北野 真理子 (急病救急センター リスクマネージャー)

(PSP15-3) 看護補助者業務の安全・感染・労働安全衛生の取り組み
高野 由美子 (看護部補助者会 担当主任)

(PSP15-4) 苦情・クレームを医療の質の向上に活かす工夫
小島由記子 (患者様相談室 主任)

(PSP15-5) 地域中核・民間病院におけるクオリティ管理センターの存在意義とこれからの展望
楠本 茂雅 (クオリティ管理センター副部長・医療安全管理室長)

総合討論、質疑応答

14:30～15:30 (SL10:特別講演)
患者相談の進め方、医療倫理の考え方と院内での進め方 ― 安全モラルの改善
瀧本 禎之 (東大病院患者相談室室長、臨床倫理センター長、医療倫理学教室准教授)

概要: 医療安全活動の向上と医療過誤防止には院内での医療倫理がキーポイントです。
そのために、院内での患者相談と医療倫理の責任者が基本的な考え方を講義します。

15:30～17:00 (PSP16:医療安全パネル討論会)
診療ガイドラインの取扱いにおける-司法と臨床の相互理解と課題
オルガナイザー: 大滝 恭弘 (帝京大学医療共通教育研究センター)

(PSP16-1) 大滝 恭弘 (帝京大学医療共通教育研究センター 准教授)

(PSP16-2) 福原 正和 (棚瀬法律事務所 弁護士)

(PSP16-3) 秦奈 峰子 (太田・佐藤法律事務所 弁護士)

(PSP16-4) 吉田 智彦 (東信会 世田谷膠原病リウマチクリニック 院長)

討論

(続く)

2016年3月6日(日)
(第13会場:医療安全) 医学教育研究棟13階第6セミナー室

17:00～18:30 (一般演題: 看護安全)

座長: 金子 恵美子 (東京女子医科大学)

17:00～17:15 (GNS-04)

より質の高い看護のために 4つの気質分類に基づく看護計画とその実践

木村 光宏 木村 陽子

大腸肛門科 仙台桃太郎クリニック

17:15～17:30 (GNS-01)

転倒・転落防止活動支援に関する検討 ～設備・制度面へのアプローチ～

芳賀 路恵

I M S (イムス) グループ本部事務局 看護部 医療安全対策委員会

17:30～17:45 (GNS-02)

医療安全活動に対するアドバイス・データの試作

引地 生美

I M S グループ本部事務局 看護部 医療安全対策委員会

17:45～18:00 (GNS-03)

点滴作業における基本作業の検討 ～投薬業務におけるヒューマンエラー要因～

加藤 まり子

I M S (イムス) グループ本部事務局 看護部 医療安全対策委員会

18:00～18:15 (GDRS-03)

グループにおける注射剤計数調剤業務における基準作業の検討

相良 克海

I M S (イムス) グループ本部事務局 看護部 医療安全対策委員会

18:15～18:30 (GDRS-04)

経口与薬業務における基準作業の検討

宮部 規子

I M S (イムス) グループ本部事務局 看護部 医療安全対策委員会

第2日目 終了

2016年3月6日(日)
(第14会場: 医療安全/医療機器安全) 医学教育研究棟13階第7セミナー室

9:00～10:30 (PSP17:医療安全パネル討論会) 地域における医療安全文化の浸透

オルガナイザー: 辰巳 陽一 (近畿大学付属病院医療安全管理部教授)

- (PSP17-1) HRA (High Reliable Area) への想い 辰巳 陽一 (近畿大学医学部附属病院・安全管理部)
(PSP17-2) 神奈川県看護協会の地域医療安全活動 新村 美佐香 (菊名記念病院・安全管理室)
(PSP17-3) 地域で取り組む医療事故防止と薬剤師の役割～三島地域病診薬薬連絡会～
西原 雅美 (大阪医科大学附属病院 薬剤部/医療安全推進部)
(PSP17-4) 南大阪医療安全ネットワークの活動とこれからの課題
楠本 茂雄 (ベルランド総合病院・クオリティ管理センター)
- 討論

10:30～12:00 (MES01:医療機器安全パネル討論会) 医療機器の安全をどう守る

オルガナイザー: 山根 隆志 (神戸大学大学院工学研究科教授)

(概要) 医療機器は開発段階で、医薬品医療機器等法に基づき、有効性と安全性を評価し、承認を得なければならない。臨床応用された後も、機器ごとに治療方法の創意工夫がなされるほか、実施医・実施施設を認定するルール作りも必要である。また市販後調査、レジストリーが安全監視に大いに役立っている。(発表各15分、総合討論30分)

- (MES01-1) 補助人工心臓治療における安全管理 西村 隆 (東京都健康長寿医療センター)
(MES01-2) ECMO 治療における安全性 市場 晋吾 (日本医科大学)
(MES01-3) 医療機器開発における安全性 山根 隆志 (神戸大学大学院工学研究科)
(MES01-4) 市販後調査・レジストリーの意義 城谷 真理 (医薬品医療機器総合機構 安全第一部)
- 討論

12:00～13:00 昼食

午後は総会本部となります。

一般演題(ポスター発表)

3月6日(日) (第2会場ロビー: 医学部鉄門記念講堂ロビー)

ポスター討論: 13時～14時、当該ポスター横にて
座長・進行: 秋野 裕信 (福井大学)

- (POS-2-01) チーム医療の推進につながる医療安全研修とは ～「劇団おにがわらの企画・運営を通して～」
中山 智美
東京都立多摩総合医療センター 看護部 看護科
- (POS-2-02) 手術時タイムアウトの充実に向けての取り組み
三井 真奈美
東京都立多摩総合医療センター 看護科 手術室
- (POS-2-03) 輸液ポンプのモデルチェンジに起因する誤操作リスクの顕在化
渡邊 晃広、鈴木 聡
神奈川工科大学 工学部 臨床工学科
- (POS-2-04) 当院における DNAR 取得の現状と今後の課題
金澤 里織
札幌医科大学附属病院 医療安全部
- (POS-2-05) 患者参画の環境作りのための職員研修企画の取り組み
上中 香代子
産業医科大学病院 医療安全管理部
- (POS-2-06) 放射線診療部門におけるインシデント解析 -経験年数との関連性-
垣花 泰政、青山 信和*)、平安名 常一、戸板 孝文、村山 貞之
琉球大学放射線診断治療学講座、*琉球大学医学部付属病院
- (POS-2-07) 多部門で連携した病理診断結果確認の取り組み
宮内 紀子、柳橋 朋美、原田 靖子、秋島 信二、鍋木 孝之
茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 医療安全管理対策室
- (POS-2-08) 当院における切迫流産に対する持続静脈点滴治療の有害事象の把握
高本 真弥 1) 2)、廣井 透雄 2)、矢野 哲 1)
1) 国立国際医療研究センター 産婦人科、2) 同 医療安全管理室
- (POS-2-09) 心電図モニタのアラームの定量化によるアラームの無駄鳴り削減の取り組み
石井 宣大 1)、渡邊 尚 1)、崎本 聖美 2)、右近 好美 2)、藤岡 歩 3)、
庄司 和広 4)、杉本健一 5)
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 1) 臨床工学部、2) 看護部、3) 医療安全推進室、
4) 麻酔部、5) 中央検査部
- (POS-2-10) 比較的稀なりウマチ疾患のクローズドクレーム分析と警鐘事例を通じた患者安全向上への示唆
○大滝 恭弘¹⁾、石田 牧子¹⁾、齊藤 裕一²⁾、大山 泰明²⁾
1 帝京大学医療共通教育研究センター 2 損保ジャパン日本興亜株式会社
- (POS-2-11) 病棟薬剤師の薬学的介入事例におけるファーマシューティカルケア分析
村川 公央¹⁾、神崎 浩孝¹⁾、森田 幸子²⁾、丸山 雅道²⁾、定金 典明¹⁾、矢尾 和久¹⁾、
北村 佳久¹⁾、岩月 啓氏²⁾、千堂 年昭¹⁾
1) 岡山大学病院 薬剤部 2) 岡山大学病院 医療安全管理部

第2日目 終了

日本医療安全学会のホームページ

<http://www.jpscs.org/>

第2回日本医療安全学会学術総会事務局
日本医療安全学会本部内
〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102
TEL/FAX: 03-3817-6770
Email: 2amt@jpscs.org